

地域スーパーを核とした地域包括ケアシステムの構築を促進する健康ステーションサービス

(札幌市厚別区もみじ台エリア)

北海道ヘルスケア産業振興協議会 地域モデルコンソーシアム（代表団体：株式会社ホクノ、参加団体：凸版印刷(株)）

- ✓ 人口減少・高齢化が進行している札幌市厚別区のもみじ台地区で、日常生活圏域にある地域の中核的なスーパーが、店舗内に健康ステーションを設置し、健康に繋がるワンストップサービスを当該地区の住民に提供し、「健康づくり」・「居場所づくり」・「役割づくり」を支援する新たな互助の仕組み（アクティブシニアによる生活支援サービス）を構築。
- ✓ 事業の成果としては、①健康ステーション設置に伴うスーパーの売上効果、②健康づくりと地域コミュニティ形成効果、③地域の多様な機関との連携体制の構築などがあげられる。

事業の全体概要図

ホクノ中央店（札幌市厚別区もみじ台）



ホクノ健康ステーション（２階）

【実施団体】(株)ホクノ（運営主体）
【参加団体】凸版印刷(株)（全体管理）

- ① ヘルスケア関連の講座・教室の開催
- ② ICTを活用した健康管理サービス
- ③ 健康相談サービス
- ④ アクティブシニアによる生活支援サービス
- ⑤ 健康関連商品・サービスの紹介
- ⑥ 健康ポイントサービス（来場ポイント）
- ⑦ 医療・介護等に係る相談対応・情報提供

平成30年度の重点プロジェクトテーマ

- ①スーパー・食堂との連携による食のリテラシー向上
- ②バイタルデータ測定強化
- ③多職種の専門スタッフによる食と健康相談の支援強化
- ④シニア男性の利用促進
- ⑤認知症予防・早期発見による受診勧奨推進
- ⑥医療機関と連携したステーション利用促進
- ⑦要支援者・要介護者の保険外サービスとしてのステーション利用促進

相乗効果

ホクノ店舗・健やか食堂（１階）



協力機関（19団体（医療機関、介護事業者、ヘルスケア事業者・団体、住民団体等））

・サービス提供の流れ： 
・金（支払い）の流れ： 

・本実証事業： 
・実証前からの事業： 

事業実施の成果

①健康ステーション設置に伴うスーパーの売上効果

ステーション利用者のうち新規顧客が13.2%、買い物頻度の増加、買い物の種類・量の増加など、以前よりも買い物が増えた利用者は75.0%であり、売上増に寄与。

②健康づくりと地域コミュニティ形成効果

健康増進・健康行動変容効果

- ・認知症を意識したり取組むようになった（49.1%）
 - ・運動や体を動かす習慣がついた（45.3%）
- に加えて、
- ・外出頻度が増えた（52.8%）
 - ・生活に張りができた（47.2%）
 - ・新しい友達ができた（45.3%）
- など、居場所づくりや仲間づくりの効果もみられた。

④地域の多様な機関との連携体制の構築

次年度からの自走化に向けて、医療機関、地域包括支援センター、介護予防センター、自治会、ヘルスケア関連事業者など、地域包括ケアを推進する多様な機関との連携体制を構築することができた。

地域住民
【主に高齢者】



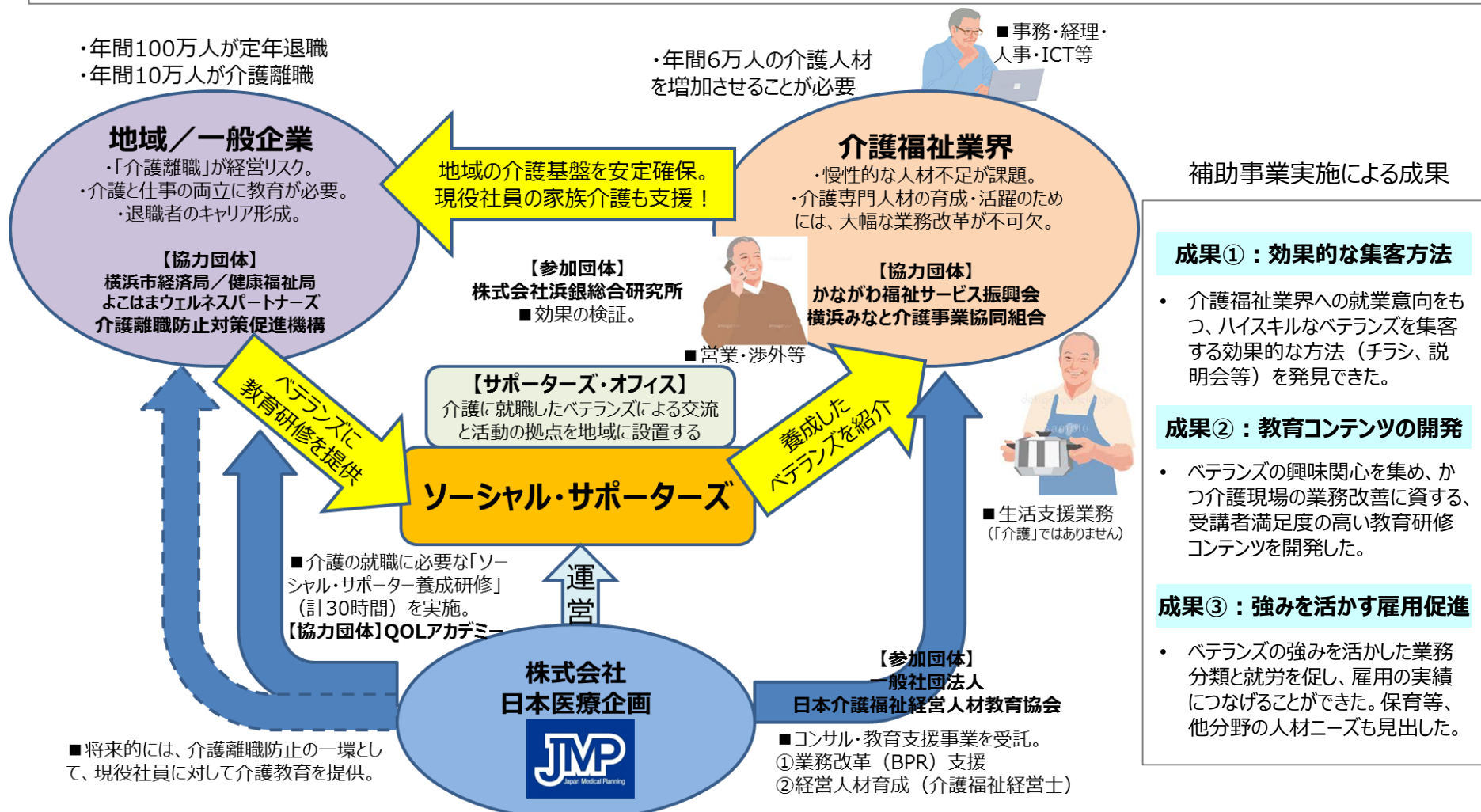
ステーション
設置による
売上増

コンソーシアム名：「ソーシャル・サポーターズ」コンソーシアム

事業名：元企業戦士（ベテランズ）が介護福祉業界にイノベーションを起こし、介護人材不足と介護離職を解決

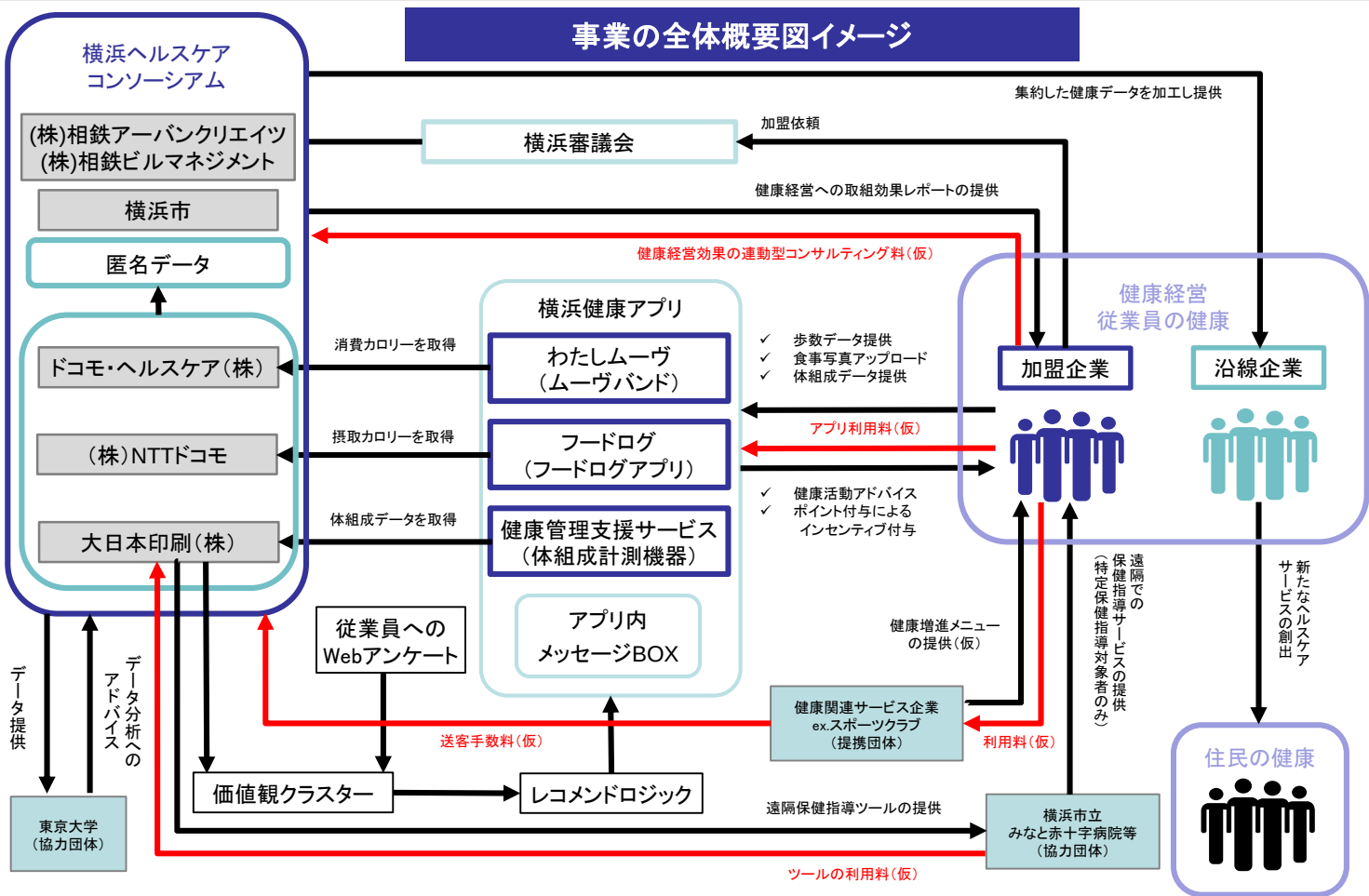
代表団体：株式会社日本医療企画

- ✓ 企業を退職したベテランズに介護福祉教育を提供、「ソーシャル・サポーター」として介護福祉業界に供給して、介護人材不足を解消します。
- ✓ 「ソーシャル・サポーター」は、事務や経理、人事、営業、ICT活用など現役時代に培ったスキル、経験、人間力を介護福祉の現場で発揮できます。
- ✓ 地域には「ソーシャル・サポーター」同士が交流できる拠点を展開し、地域の支えあいと自らの健康増進に寄与する仕組みをつくります。
- ✓ 上記の結果、地域の介護サービス基盤が維持・確保されるため、企業の経営リスクである「介護離職問題」の解決に寄与します。



健康経営で生産性向上、イメージアップ、人手不足解消を!!

コンソーシアム名: 横浜ヘルスケア・コンソーシアム
事業名: 横浜の産官学が連携して取り組む健康経営普及促進プログラム
代表団体: (株)相鉄アーバンクリエイツ
参加団体: (株)NTTドコモ、大日本印刷(株)、(株)ドコモ・ヘルスケア、(株)相鉄ビルマネジメント、横浜市



事業実施による成果

成果①: 多く参加者を確保

よこはまウェルネスパートナーズとの連携を図り、22社・500名の参加意向者を確保することができた。
横浜市内の事業所において健康経営の実践企業を増加させることにつながった。

成果②: 遠隔ツールの有効性を確認

テレビ電話での遠隔指導やチャットによるコミュニケーションの醸成が参加者・指導者双方の負担軽減につながることを確認できた

成果③: 500名の健康データを収集

500名の5か月間体組成(体重・血圧)、運動データ、食事データを取得し、今後の分析の基礎を固めることができた。

成果④: 分析レポートのとりまとめ

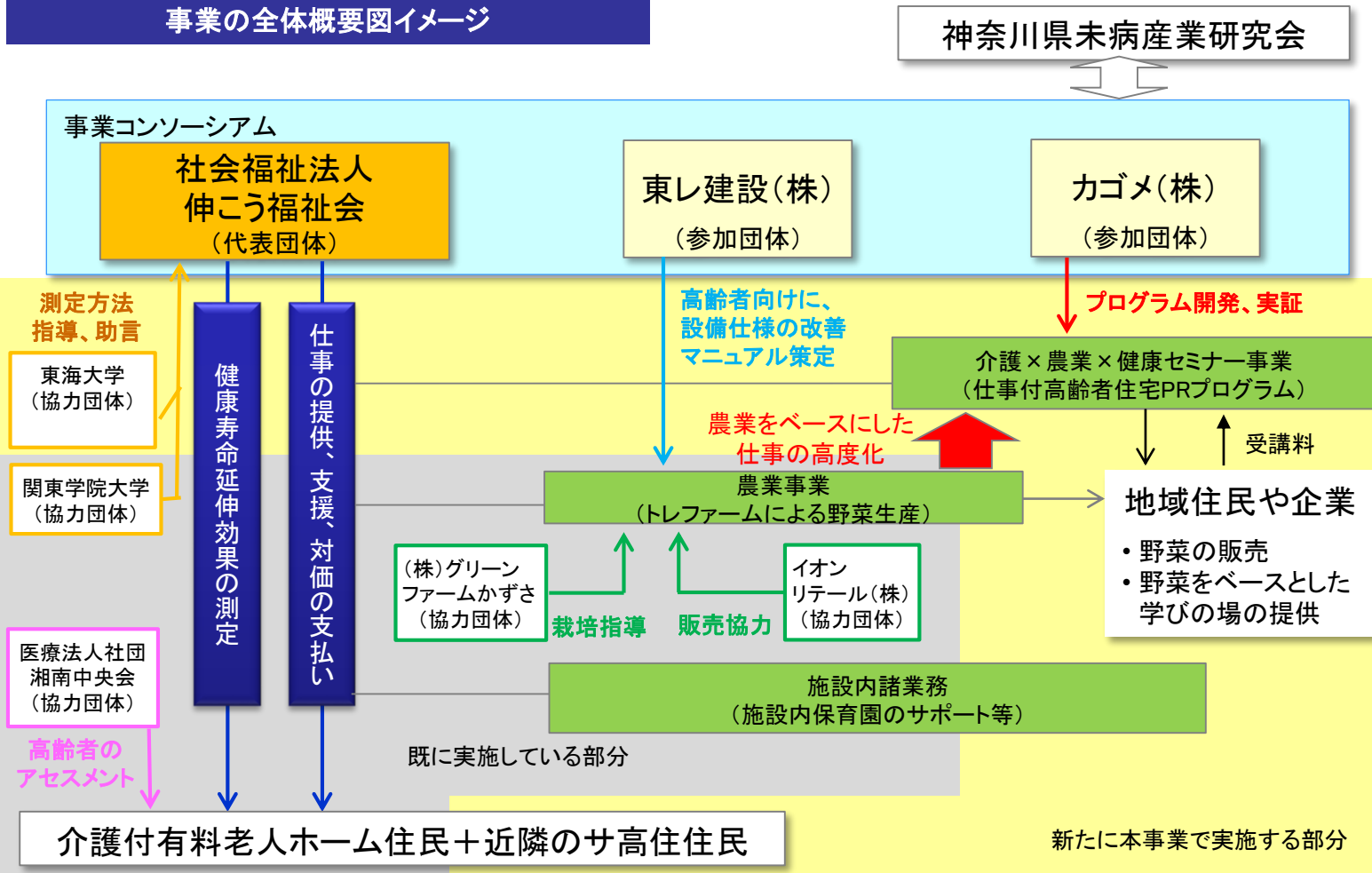
コンソーシアム各社の協働により、取得したデータの分析を、各社の知見を持ち合って取りまとめることができた。

仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業（神奈川県藤沢市）

社会福祉法人 伸こう福祉会

- ✓ 施設に入居する、要支援～要介護3前後の高齢者を中心に「お仕事」を通じて健康寿命を維持向上する仕組みを構築する。
- ✓ 農業をベースに野菜販売＋αの新規事業をつくり事業収益性を高める。老後に不安をもつ人や介護予備軍が家族にいる企業社員向けに介護と健康に係るセミナーを開発し、高齢者自らが自身の活動を主体的に発信する、仕高住を構築する。
- ✓ ご入居者の経験・技術・趣味等を活かしたお仕事をご入居者と一緒に創出する。

事業の全体概要図イメージ



補助事業実施による成果

成果① 新たな仕事を作り出し、この事業に参加する方を増やす。

- ・ 継続的な参加者 昨年度比 3名 → 12名
- ・ お仕事数 昨年度比 3事業 → 5事業

成果② 仕事による健康寿命延伸効果データを収集、分析する。

コミュニケーション・元気圧・認知力・活動量を仕事有・仕事無の方で計測・比較分析を行った結果、コミュニケーション 仕事有の女性参加者に良い影響が出ていると言える。認知力（長谷川式スケール）8名中6名が計測3回目にスコアアップが見られた。

成果③ 更なる本格実施・横展開をする為のマニュアルを作成する。

事業の拡充・横展開のために事業導入時～これまでの過程を記録しマニュアル化した。

成果④ 社会的関心度の調査

「仕事付き～」に対して20件以上の取材があり、それと同等以上の見学依頼があった。

メディシェフコンソーシアム

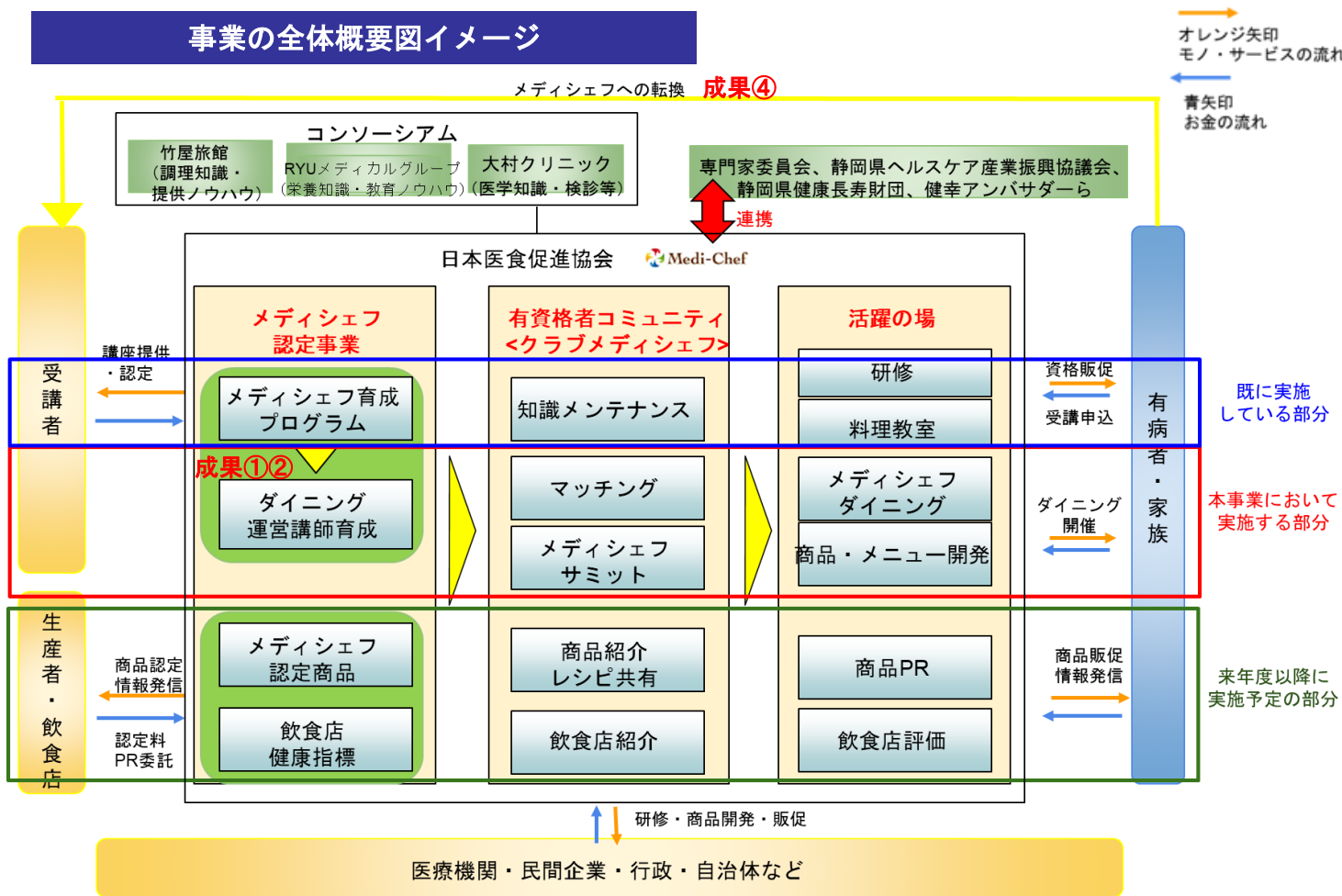
「シニア層のメディシェフ育成と、食制限対応型の食事会「メディシェフダイニング」の運営による食の喜び・学びの場創出と社会参加の促進とシニアの健康づくり&いきがい創出支援」

✓意欲あるシニアを対象に美味しい健康食を提供する人材「メディシェフ」のノウハウを提供し、ダイニング運営講師として育成。

✓運営講師とシニア層・有患者層をマッチングし、飲食店での「メディシェフダイニング」を提供。喜び・学び・生きがいの場の創出と共に、認知度拡大による受講者獲得、参加者のコミュニティづくりを目指す。

✓メディシェフの質の担保やコミュニティの拡大のために、有資格者コミュニティ「クラブメディシェフ」をつくり、知識メンテナンスやマッチング、ノウハウ共有などのインプットの場として活用。メディシェフダイニングの運営支援にもつなげる。メディシェフダイニング開催後にはメディシェフや関係者を集めた「メディシェフサミット」を開き、実証結果をもとにメディシェフダイニング事業モデルを改善すると共に、次年度の運営講師を募り継続的な実施に繋げる。

事業の全体概要図イメージ



補助事業実施による成果

成果①：対面でのメディシェフ育成手法の構築

- メディシェフ入門編の対面講師を育成するための、講師育成プログラムの整備と講師の評価制度を構築

成果②：ダイニング運営講師の育成と開催

- ダイニング運営講師5人を育成し、「メディシェフダイニング」を5回、講師と共同で企画・実施した

成果③：ダイニング運営・参加による満足度の測定

- 地域のシニアをはじめメディシェフ関心者合計100名以上が参加。参加者の喜びや満足度を検証し、知識習得の喜びにつながった。また運営講師の満足やダイニングの継続実施の可能性につながった

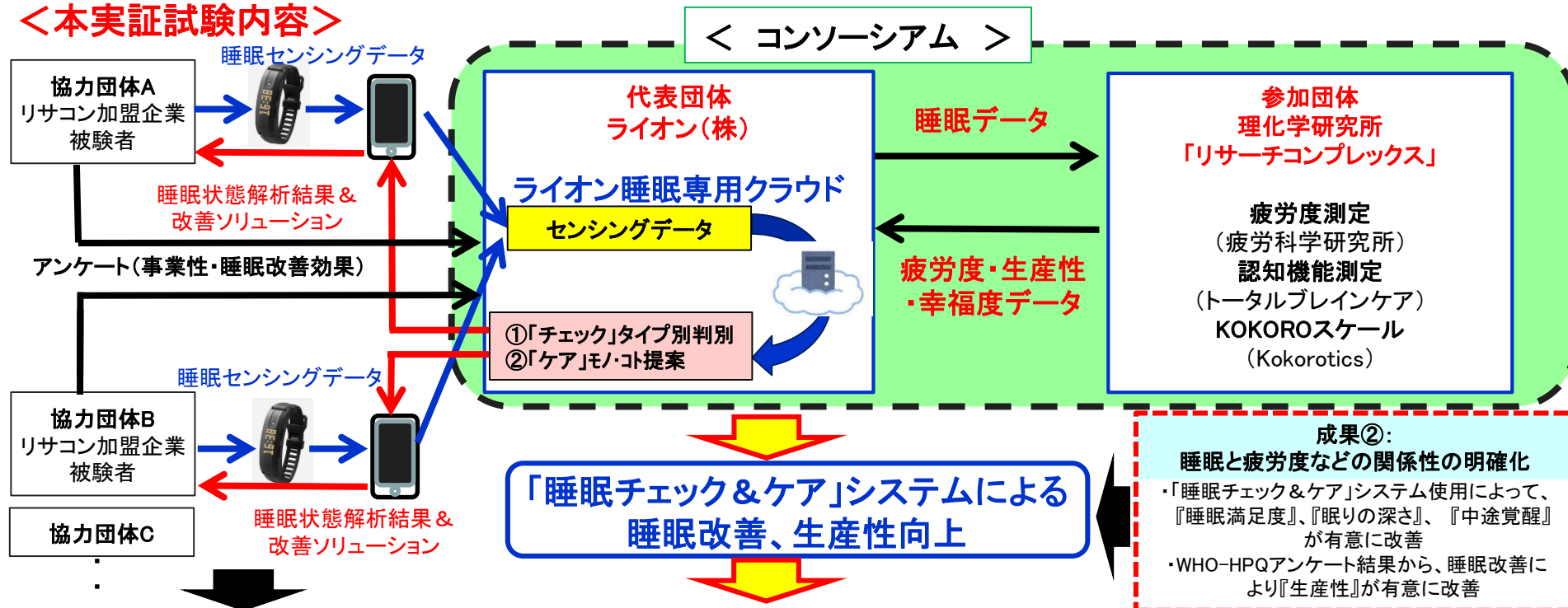
成果④：メディシェフ受講への転換率の測定

- ダイニング参加者の食の学びに関する意欲を喚起することで、メディシェフ受講者への転換を促し、無料登録を含めて3割以上が転換した

事業名	睡眠改善による健康増進と労働生産性の向上を目的とするBtoBtoC事業
コンソーシアム名	睡眠環境の改善を通して健康寿命延伸に繋げる事業化検証集団

＜目的＞事業主体のライオンと参加団体の理研「リサコン」、協力団体の「リサコン」加盟企業とのコンソーシアムで企業就労者の睡眠改善により健康増進のみならず生産性向上から働き方改革、健康経営に繋がる「睡眠チェック&ケア」サービス事業の検証を行う。

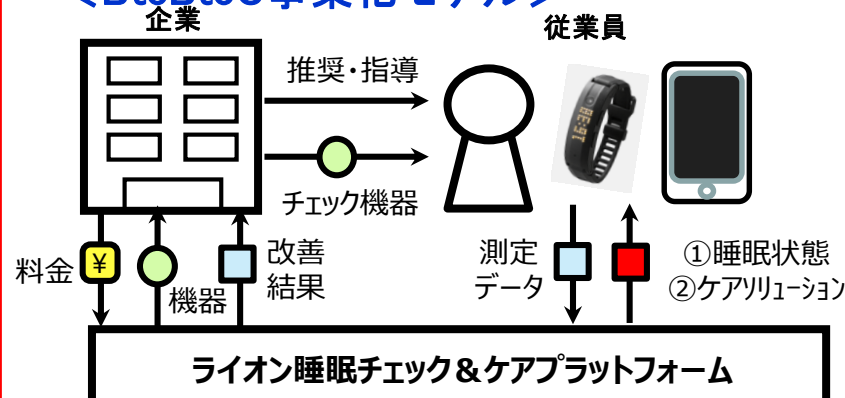
＜本実証試験内容＞



成果①: 睡眠チェック&ケアシステム事業性データ取得

- ・システムの測定精度とソリューション提供が優位性であることを再認識することができた
→機能性表示食品とセットでの事業展開を図る
- ・アプリのUI/UXの改良や、ソリューションの拡充、シフトワーカーへの対応が今後望まれる

＜BtoBtoC事業化モデル＞



ターゲット企業案

健康経営に
取り組む企業

運輸業

損保・生保会社

コミュニティナースの育成・支援を通じた健康的なまちづくり推進事業

島根県雲南市

コミュニティナース育成コンソーシアム（Community Nurse Company株式会社）

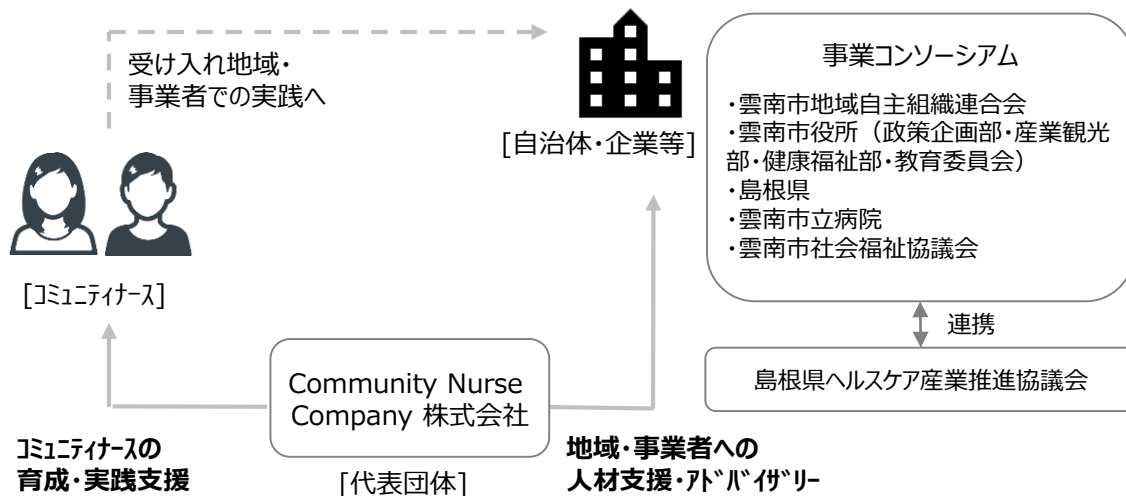
コミュニティナースとは

- ひとの暮らしの動線に存在し
- すでに地域で活動している医療者や自治体などとも連携しつつ
- 「楽しい」や「安心」を切り口として
- 住民の健康と幸福に寄与する様々な活動を
- 制度に縛られることなく自由に実践する



事業の全体概要図

地域での多様な実践を通して得た知見とノウハウをもとに「人材」と「地域」の双方にはたらきかけ、成果へと導くことが、事業者としての特徴であり強みでもある



注記：代表団体は、雲南市以外にも全国の地域・事業者と事業を行っています

事業実施の成果

本年度の重点成果目標

①「自治体モデル」の推進

コミュニティナースの成果の可視化と持続可能な収入源の獲得

②「企業協働モデル」の開発

民間企業2社と協働事例をつくり、活動の在り方を多様に

③実践をささえるしくみづくり

講座修了生100名と自治体・企業等の協働パートナーが地域を越えて学び合うしくみをつくる

これまでに獲得した成果

①自治体モデルの検証

昨年度の案件組成とCN導入支援に加え、地域での自立的運営を支える課題解決支援や人材育成支援を提供

②民間企業2社との協働

交通インフラ企業、小売企業と新規事業開発に向けた現地調査、実証実験を

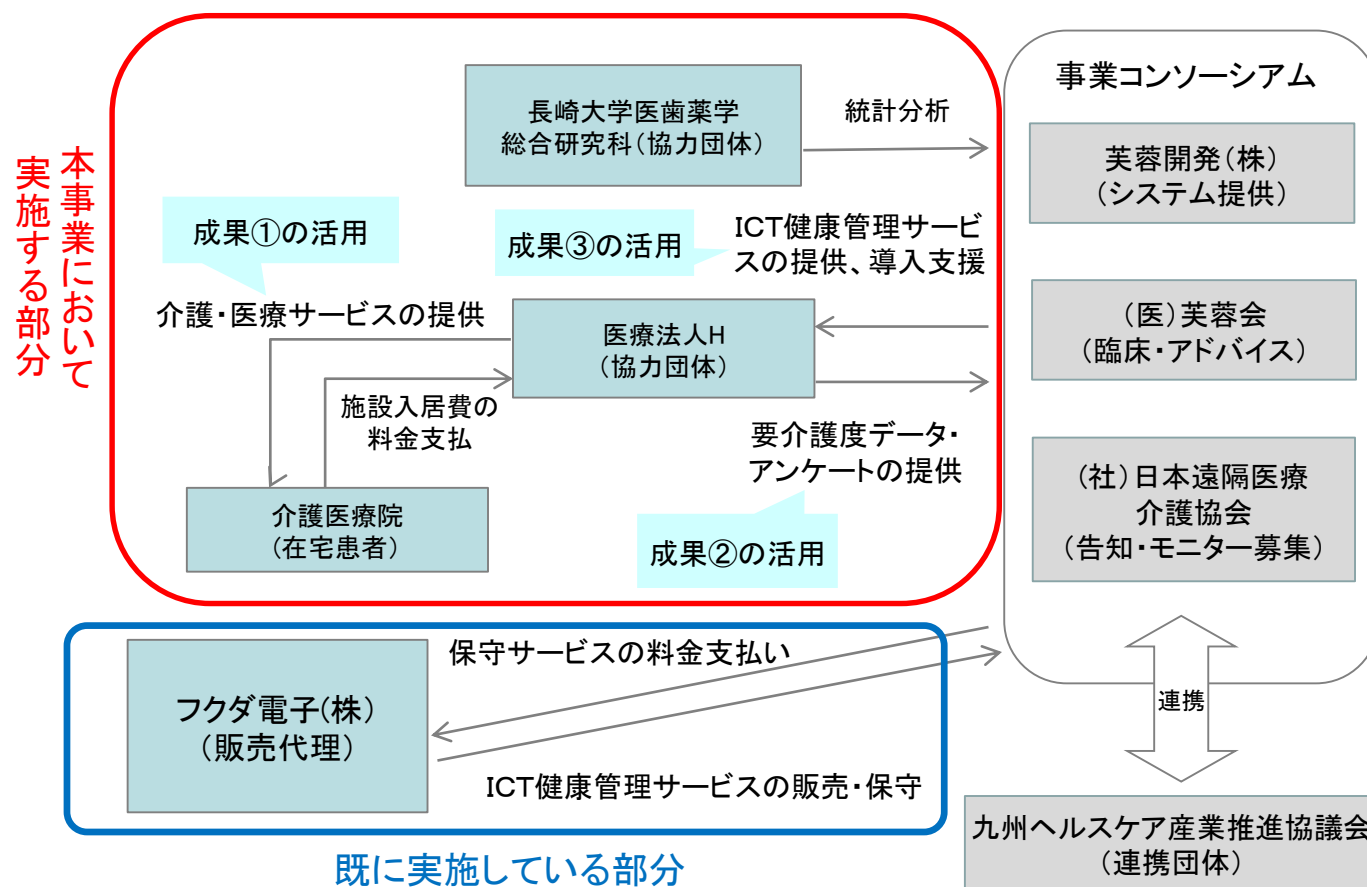
③コミュニティナース研究所の設立

B版の立ち上げが完了。現時点では170名の会員のうち70名が修了生。自立的な運営が行われている。

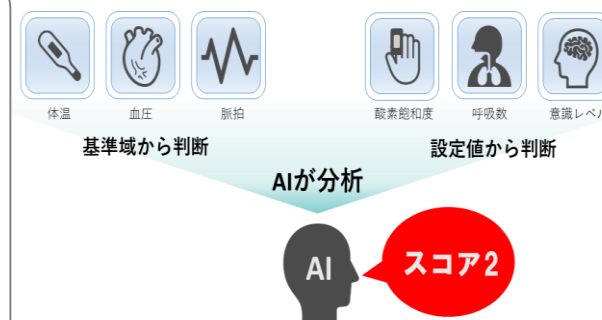
コンソーシアム名：介護医療院向けICT推進コンソーシアム 事業名：介護医療院向けICT健康管理システム推進事業
事業の全体像 代表団体名：芙蓉開発(株) 参加団体名：(医)芙蓉会 (社)日本遠隔医療介護協会

重症化予防に実績のある「安診ネット」の介護医療院版をリリースする。AIが個人の特性を加味し、利用者全員の健康警戒レベルを一目で分かる「スコア 表示」することで、職員は少ない人員配置でも要注意者に対し重点的に問診・観察することができる。導入した介護医療院において従来の療養病院と比べて、効率的かつ質の高い健康管理を可能とし、介護度の進行抑制や改善効果を出すことで健康寿命延伸に貢献する。

事業の全体概要図イメージ



補助事業のシステムの仕組み



北九州 生涯現役フレイル対策コンソーシアム

ドラッグストアを起点とした健康無関心層へのアプローチと就労機会創出によるフレイル対策

ドラッグストアの場を起点として高齢者をスクリーニングし、無関心層やこれまで補足できていなかった層へフレイル対策プログラムを提供。

薬剤師や管理栄養士などの専門人材を活かし、筋力・栄養・社会性に着眼した教室だけでなく、自宅での取り組みサポートや、就労機会の提供など、コンテンツのさらなる進化・定着により自走可能なビジネスモデルの構築と生涯現役社会の実現を目指す。

代表団体: (株)サンキュードラッグ

参加団体: 大日本印刷(株)

(株)しちだ・教育研究所

【代表団体】サンキュードラッグ (ドラッグストア・薬局)

顧客像

65歳以上のフレイル高齢者



フレイル対策プログラムの提供(月額有料)

医療・介護従事者



地域包括
支援センター



かかり
つけ医

地域
医療
連携

数値改善の
確認や
行動変容
の分析



健康測定・
フレイル・
認知機能・データ

購買データ

①薬局店頭での 高齢者全員 簡単フレイルチェック

無関心層や
これまで補足でき
ていなかった層へ
店頭でアプローチ



②シニア ボランティア採用

就労機会の提供



③フレイルチェック

現状を把握し
悪化を検知

- フレイルチェック
 - ・歩行能力
 - ・握力
 - ・バランス能力
 - ・下肢筋力
 - ・機能的移動能力
 - ・社会面・栄養面
- 認知機能チェック
- 体組成・血圧



スタッフとして参加

④フレイル対策プログラム

講座 週1回

薬局でみんなと楽しく取り組める

健康体操講座



筋力

昼食会

栄養



脳トレ講座

社会性



デイリーワークの
実施チェック・励まし

管理栄養士による
徹底サポート

さらに目標達成すれば
お買い物券進呈

デイリーワーク 毎日

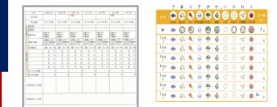
自宅での取り組みも
サポート



運動&脳トレ&栄養の
デイリーワーク提供



実施チェックリスト



【アドバイザー・協力団体】

アドバイス

評価、運動・栄養コンテンツ設計

脳トレコンテンツ
提供

データ管理
システム・分析

・北九州市健康・生活産業振興協議会
・九州ヘルスケア産業推進協議会
・九州経済産業局

【監修】
東京都健康長寿
医療センター

【参加団体】
しちだ・教育研究所

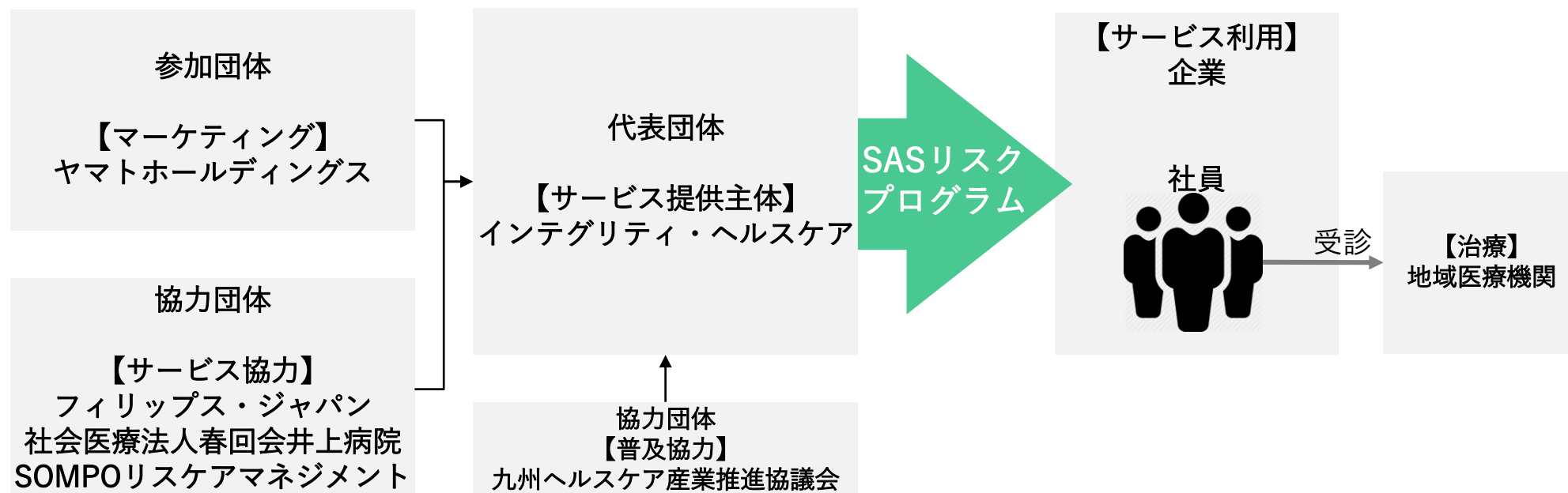
【参加団体】
大日本印刷

SASリスクプログラムの浸透による健康経営推進 事業全体像

社員の健康増進と企業経営のリスク低減に貢献する

- ・ SASは通常の健診では判定できない
- ・ 疾患理解不足による低受診率

オンライン医療相談による疾患理解を組合わせた
SAS検査をおこない、意識変容を促す



補助事業実施による成果

1. サービス提供体制の確立

- ・ 顧客の利用しやすいフローを確立した
- ・ 簡素化されたオペレーションフローを確立した
- ・ オンライン医療相談マニュアルを策定した

2. 事業モデルの確立

- ・ オンラインでの医療相談の有用性の証明、及びマーケティング活動の深耕により、横展開のための事業モデルを確立した。

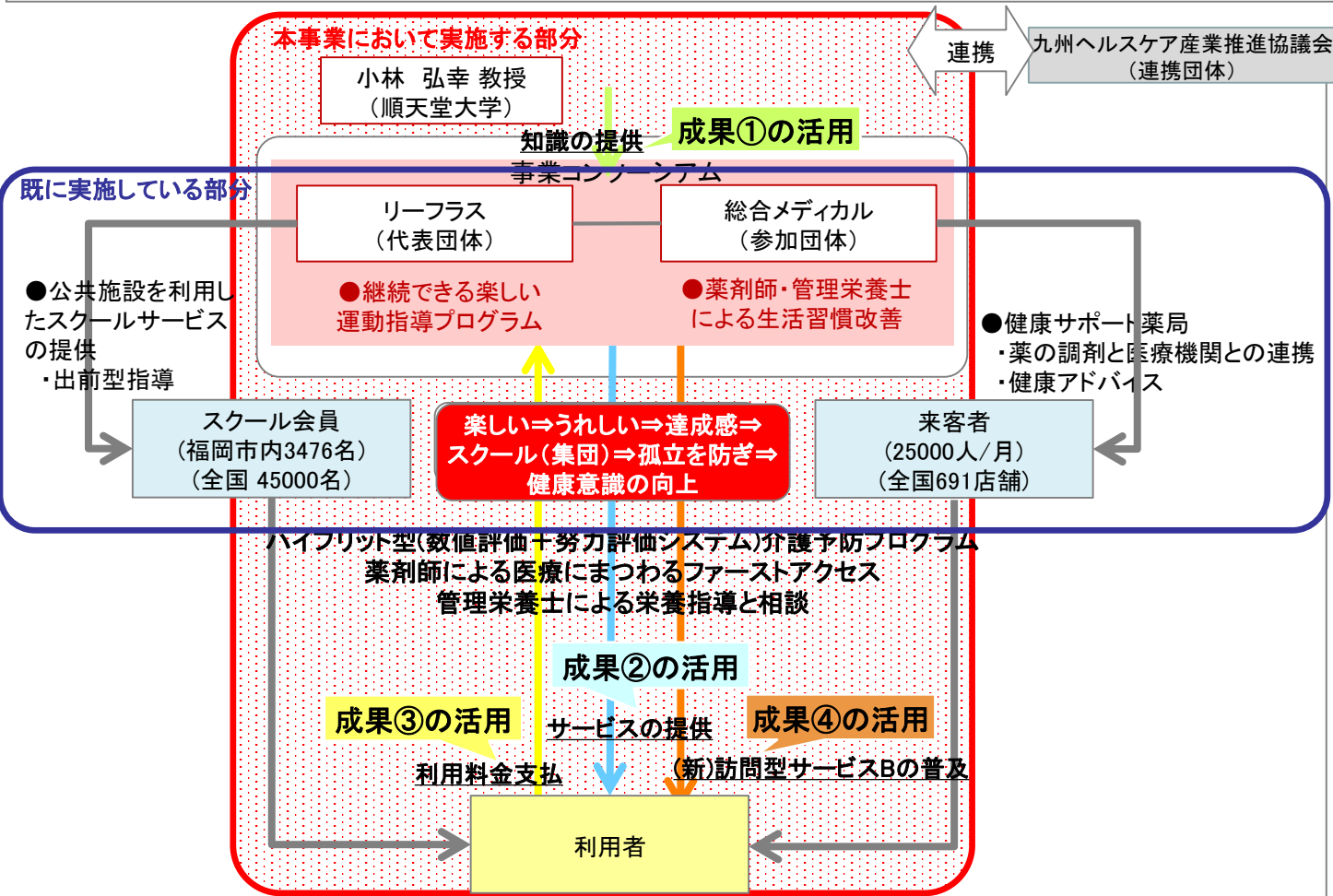
3. 社員の意識変容手法の確立

- ・ 受診抵抗感の解消効果が証明された（「受診したくない」方が約7割減少した）
- ・ 企業責任者への啓発の必要性について確認した

福岡健康寿命延伸共同体(リーフラス株)・総合メディカル株)

楽しく継続できる！ 公的保険に頼らない出張型地域包括システム活性化事業(福岡市及びその周辺)

①運動指導員による高齢者への運動指導②薬剤師による医療にまつわるファーストアクセスと受診勧奨、③栄養士による栄養に関する相談・指導を組み合わせた出前型教育プログラムと、教室・家庭での実績を数値評価＋努力評価運動・栄養プログラム簡易体調チェックをするシステム管理の組み合わせによって、継続性が高く、楽しい介護予防プログラムの事業検証を行う。



- 成果①: 効果分析・解析**
- 運動楽しさ、食の重要性を認識後の行動変化と継続意識の向上が見られ、具体的目標により効果を期待するようになった。
- 成果②: 身近な地域で実施する楽しい運動・栄養教室・医療ファーストアクセス**
- 開始当初のアンケートでは運動をしたいが52%だったが、事業終了後のアンケートでは100%継続希望であった。
 - 栄養指導により、食生活の変化があったが、年末年始の中だるみも見られた
 - 受診勧奨までは至らないが、フレイル・プチフレイルが67%見られた。
- 成果③: 受益者負担**
- ¥1000/1回と¥500/1回のパターンで実施。圧倒的に¥500/1回のニーズが高かった。体育館等の公共施設での介護予防事業の無料実施が影響していると思われる。
- 成果④: 参加率を高める**
- 従来型指導では効果がなかった、こども向け多種目スクールをヒントに転用したところ、入会率42%から100%となり、継続率は78%へ向上、当初目標を達成できた。述べ参加人数286名

リーフラスの全国600名の社員指導員と総合メディカルの全国691店舗の保有リソースを活用し、スクールと健康サポート薬局のノウハウを活かし事業展開していく。

きつなく楽しく継続させるハイブリット型(数値評価＋努力評価システム)介護予防運動・栄養教室プログラムの実施
身近な地域(公民館や薬局等)で実施する為、自発的に外出するきっかけ作りとなり、地域への接触度が高まる

(コンソーシアム名:健康経営を地域に広げる取り組みプロジェクト、代表団体名:みやまパワーHD株式会社)

みやま市内の中小企業に対して、従業員やその家族、市民が主体的に健康づくりを楽しみ、いきいきと生活できる「健康経営」の取組みを定着させ、「健康優良企業認定の取得」等を通じて健康都市モデルを構築します。市内企業や市民への普及を行う手始めとして、まずは市役所職員と市内企業複数社を対象に「健康行動変容プログラム」を実践し、そのノウハウと成果を地域に蓄積することで、地域の人材や資源を活用した健康ビジネスへと成長させます。この健康経営の取り組みを新たな地域サービスとして浸透させることで電気契約者を増やし、電気料金の収益を活用した持続可能なビジネスへと発展させることで、地域エネルギー会社が主体となった「健康×エネルギー×経済」のビジネスモデルを全国に展開して行くことを目指します。

■事業の全体フロー

協力依頼

「健康×エネルギー×経済」プラットフォーム構築
(みやまパワーHD株式会社)

《行動科学に基づいた
持続可能なプログラム》

健康プログラムの進め方
の検討、周知協力
(みやま市役所)

連携

地域サービスの提供、プログラム実施者の選別
地域の健康資源の発掘・活用
(みやまSE株式会社)

サービス提供

周知

健康プログラム
実施対象者

ライフ
プラン

健康意識アンケート・健康経営支援プログラムの実施
(アクサ生命保険)

生活習慣
課題の
見える化

行動変容プログラムの実施

短期的な健康増進プログラム
(ライザップ)

中期的な体質改善プログラム
(ケララリーフ & Co)

運動トレーニング、食事管理

運動、食事、セルフケア

診断結果フィードバック

地域医療機関と連携したプログラム実施効果の測定
(社会医療法人弘恵会 ヨコクラ病院)

監修
指導

地域展開

地元賛同企業・団体の発掘、健康商品・サービス開発

飲食店 食品 医療機関 美容室 運動施設 サロン リラクゼーション

生涯現役社会の実現

健康商品・サービスの提供

みやま市発の健康ビジネスの展開

■事業の実施体制

事業コンソーシアム

正会員
みやまPHD

みやまPHD

アクサ生命

みやまSE

ケララリーフ

ヨコクラ
病院

ジェノタイプファーム

みやま市役所
商工会青年部

ライザップ

九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIC)

■事業実施による効果

①健康優良経営企業の定着、企業経営の維持

個々人に見合った確かな健康プログラムの実施、
質の高い健康経営による永続的な企業経営の維持

②地域経済を生み出す健康ビジネスの構築

健康資源としての新たな価値の創出、地元企業・団体
による健康商品・サービスの提供、顧客・消費の拡大

③電気契約者増加による収益モデルの構築

地域エネルギー電力の地元契約者の増加、契約拡大
による売上・収益の確保、持続可能なビジネス確立

既存
事業
(みやま
電力サ
ービス)

電気契約者の拡大

代理店
契約

新規
契約

健康商品・
サービスの
顧客拡大

プログラム
効果測定

みやま市職員(約400名)

企業A 企業B 企業C

健康商品・
サービスの
顧客拡大

生涯現役SEGODON育成推進事業

コンソーシアム名：生涯現役天文館モデル事業推進コンソーシアム

代表団体：公益社団法人鹿児島県済会 南風病院

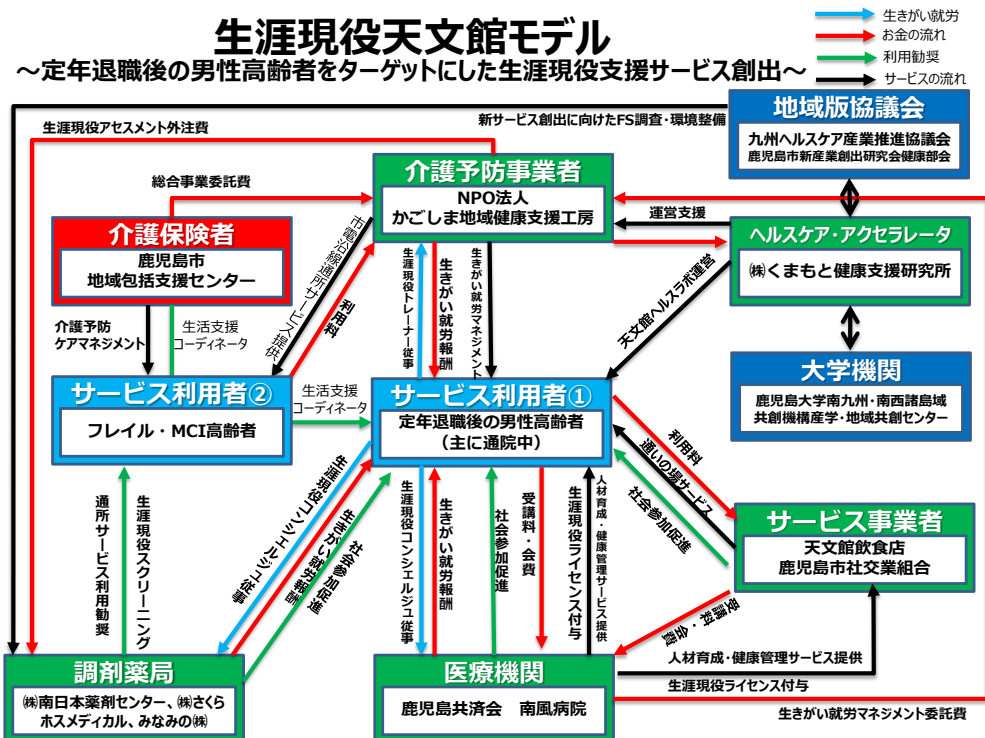
参加団体：(株)くまもと健康支援研究所、(株)南日本薬剤センター、NPO法人かごしま地域健康支援工房

定年退職後の男性高齢者を対象に、「働きながらの健康づくり」をコンセプトとして、介護予防分野の“生きがい就労支援”と“健康管理”を組み合わせた“**就労支援付き健康管理サービス**”を提供し、社会参加促進・健康寿命延伸を図る。

定年退職後の男性高齢者等に介護予防分野の人材育成・ライセンス付与を行い、医療機関および調剤薬局でのサービス参加勧奨の就労先を開発・提供する。

医療機関・調剤薬局で把握された高齢者に、市電沿線の遊休スペースを活用したフレイル・MCI予防サービスを提供し、ライセンス取得者の就労先とするとともに、フレイル・MCI予防を図る。市内繁華街「天文館」の飲食店等の遊休スペースに定年退職後の男性高齢者の通いの場を創出し、会員の交流の場として利用勧奨する。**就労で得る報酬を自身の健康管理コストにあてる**生涯現役に向けた新しい価値を提案する。

事業の全体概要図



補助事業実施による成果

成果①

定年退職後の男性高齢者の社会参加促進に向けた効果的なリーチ手法の確立

新聞広告を活用した医療機関・調剤薬局主催の講演会、退職者の会、図書館、温泉施設において、生涯現役コンシェルジュ（生きがい就労）を活用した効果的なリーチ手法を確立した。ラジオやテレビCMは期待された効果は得られなかった。

成果②

フレイル・MCI高齢者の効果的なリーチ手法の確立及びサービス提供体制の確立

調剤薬局に生涯現役コンシェルジュ（生きがい就労）を常駐させたリーチ手法を開発したが、効率性に課題が残った。課題解決策として、スーパーや商店街など生活空間におけるリーチ手法の確立、医療機関・調剤薬局において患者・地域を巻き込んだコミュニティカフェの定期開催によるフレイル・MCI高齢者のリーチ手法（**生涯現役カフェ**）を確立し、医療機関や調剤薬局の遊休スペースを活用したサービス提供体制を確立した。

成果③

介護予防分野における就労先の開発および就労支援×健康管理サービス開発による、就労対価を健康管理サービス費用に充てる「新しい価値」の創出

生涯現役トレーナー（ライセンス取得44名）、生涯現役コンシェルジュ（ライセンス取得29名）の就労先を開発し、34名の高齢者の就労実績をあげた。就労支援×健康管理サービス「なんぱうジョブ・フィット」の有料会員希望について7割を超えた。

成果④

市電沿線における生涯現役支援サービス集積およびヘルスラボの基盤構築

市電沿線に①介護予防サービス「元気が出る学校」②社会参加支援サービス「西郷どん倶楽部」③就労支援×健康管理サービス「なんぱうジョブ・フィット」を集積し、106名の有料会員を得た。会員のうち52%に、テストマーケティング等のヘルスラボ参画に対するニーズを確認できた。

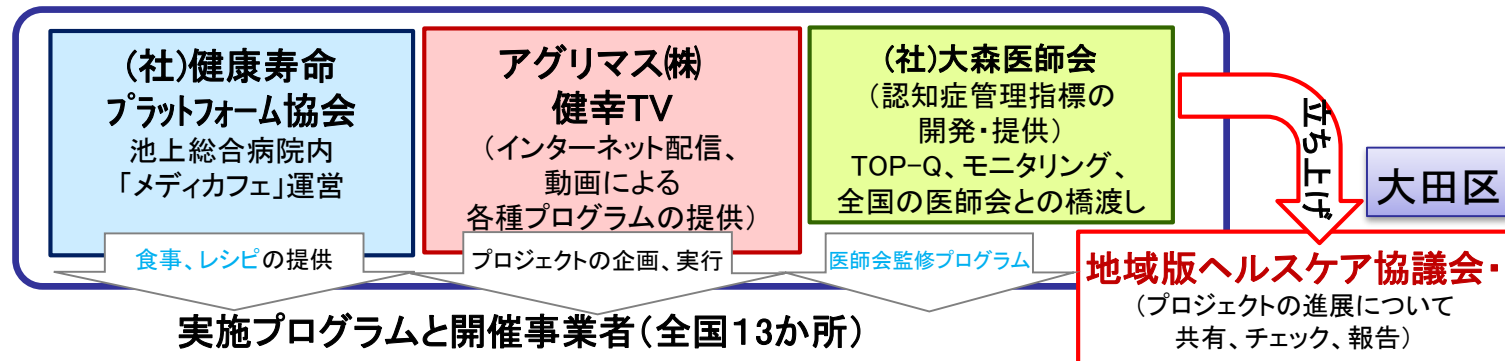


大森地区における医師会との協業による認知症の超早期発見と重症化予防プロジェクトの全国実装事業 「早期認知症予防センター」 コンソーシアム （アグリマス株式会社）

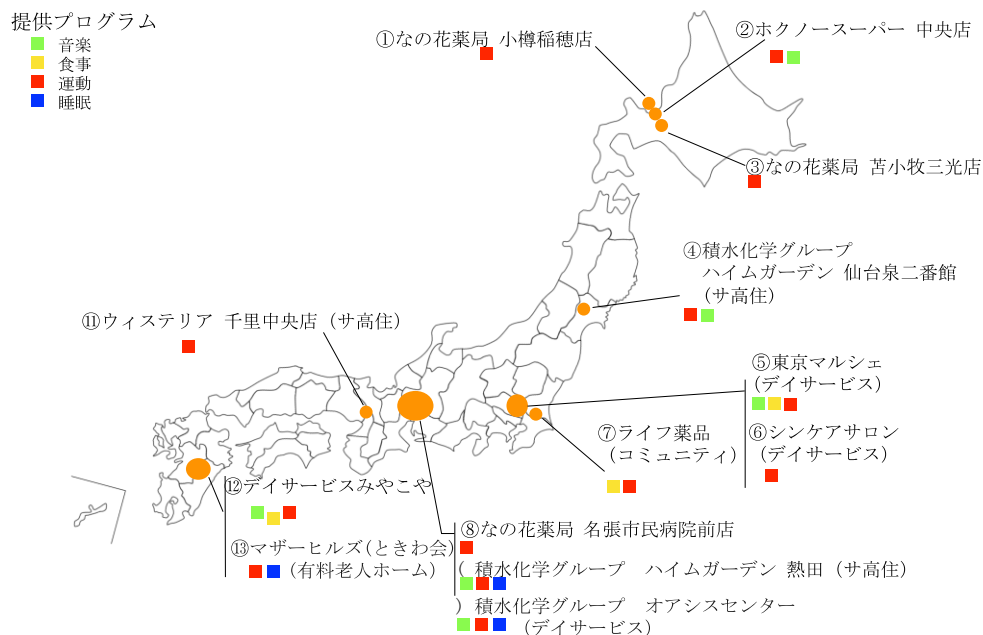
早期認知症予防センター 概要

事業の目的： 認知症の早期発見～重症化予防

* 対象者: 60～80代くらいの元気な高齢者



健康脳プロジェクト 参加事業所(2018年)



事業実施による成果

成果①: パッケージの横展開

- 大森メソッドを全国13事業所で実証し、『健康脳プロジェクト』として、横展開可能な状態にした。

成果②: エビデンス構築

- 認知症の超早期段階における発見のメソッドを医師会・大学と共同開発し、その成果を関連学会に演題登録。

成果③: 参加事業所のサービスの質の向上

- 健康脳プロジェクトを、参加事業所と共同開催することによって、参加事業所のサービスの質の向上に貢献。